ドライブ

ユーザー ガイド

初版： 2007 年 4 月

製品番号：438917-291

このガイドについて

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。 一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 取り付けられているドライブの確認

コンピュータに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。

2　ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

注意：　コンピュータやドライブの損傷、または情報の消失を防ぐため、以下の点に注意してください。

コンピュータや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、必ず事前にスタンバイを起動して画面表示が消えるまでお待ちください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。 コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

3　ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使い方

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めて効率的に実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[ボリューム]**でハードドライブの一覧をクリックし（通常は（C:））、次に**[最適化]**をクリックします。

詳しくは、ディスク デフラグのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使い方

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、コンピュータの実行効率が高くなります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

4 HP 3D DriveGuard

HP 3D DriveGuard は、次のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することにより、ハードドライブを保護します。

- バッテリ電源で動作している時にコンピュータを落下させた場合
- バッテリ電源で動作している時にディスプレイを閉じた状態でコンピュータを移動した場合

これらの動作の実行後は HP 3D DriveGuard により、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

注記： コンピュータ内部のハードドライブおよびオプションのマルチベイ II ハードドライブ（一部のモデルのみ）が、HP 3D DriveGuard により保護されます。オプションのドッキング デバイス内のハードドライブや、USB ポートで接続されているハードドライブは、保護されません。

詳しくは、HP 3D DriveGuard のヘルプを参照してください。

HP 3D DriveGuard の状態

コンピュータのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ドライブが停止していることを示します。タスクバーの右端にある通知領域のアイコンを使用して、ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかどうかを確認することができます。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色の X がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

HP 3D DriveGuard によりドライブを停止された場合、コンピュータは次のような状態になります。

- シャットダウンができない
- 次に示す場合を除いて、スタンバイまたはハイバネーションを起動できない

注記： HP 3D DriveGuard によりドライブが停止された場合でも、コンピュータがバッテリ電源で動作している時に完全なローバッテリ状態になると、ハイバネーションを起動できるようになります。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリ アラームを有効にできない

コンピュータを移動する前に、シャットダウンするか、スタンバイまたはハイバネーションを起動することをおすすめします。

HP 3D DriveGuard ソフトウェア

HP 3D DriveGuard ソフトウェアを使用することで、次の設定を変更できます。

- HP 3D DriveGuard を有効/無効にする。

注記： ユーザの権限によっては、HP 3D DriveGuard を有効または無効にできない場合があります。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。
- 通知領域のアイコンの表示/非表示

ソフトウェアを開いて設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. タスクバーの右端にある通知領域のアイコンをダブルクリックします。

   -または-

   通知領域のアイコンを右クリックし、**[Settings]**（設定）を選択します。
2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

5 ハードドライブの交換

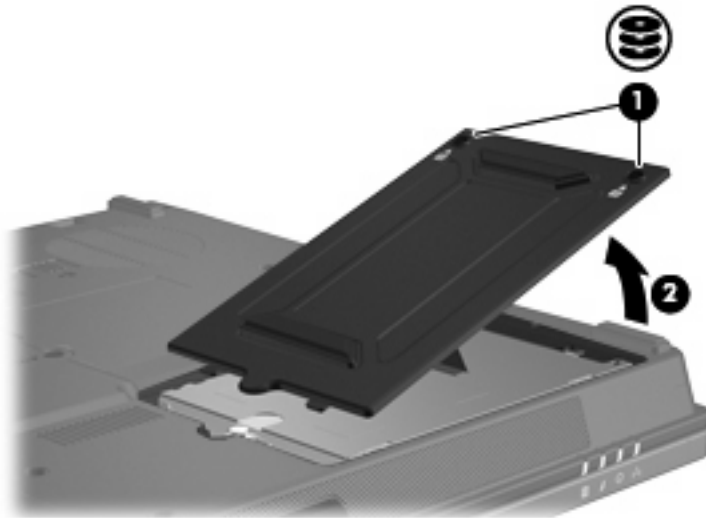
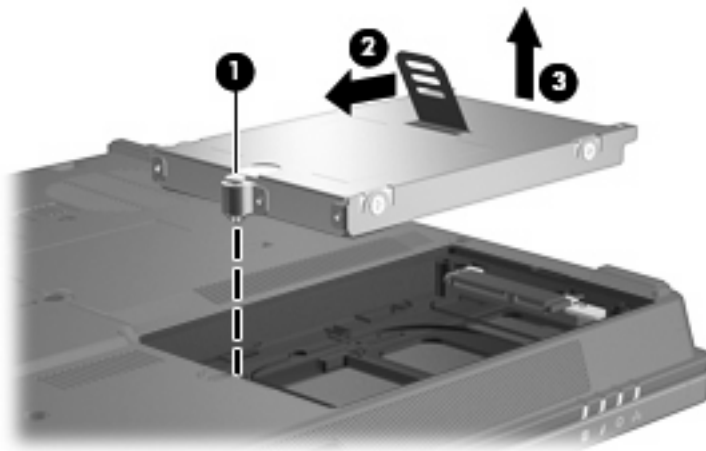
注意： データの消失やシステムの応答停止を防ぐには、以下の注意を守ってください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータの電源を切ってください。 コンピュータの電源が入っているときや、スタンバイまたはハイバネーションの状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

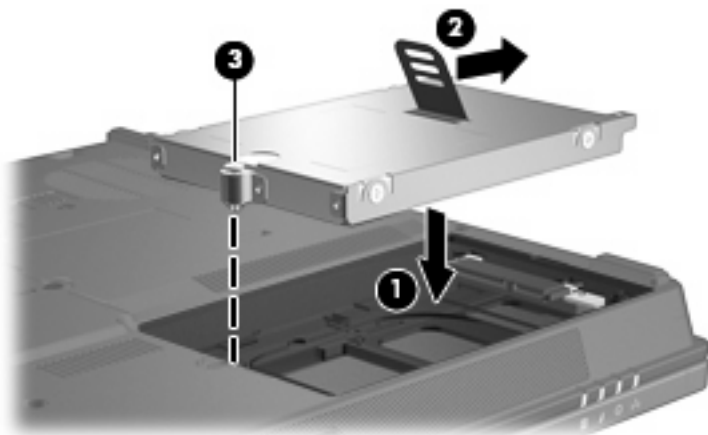
コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。 次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

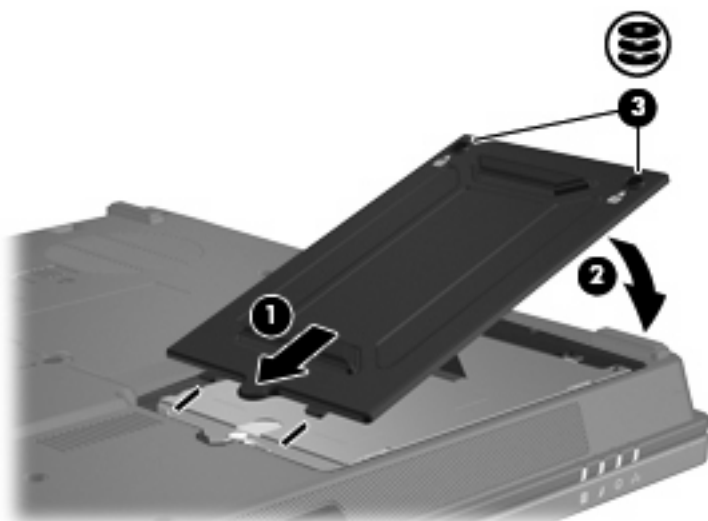
1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピュータから電源コードを抜きます。
5. コンピュータのハードドライブ ベイが手前を向くようにしてコンピュータを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピュータからバッテリ パックを取り外します。
7. ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。

8. ハードドライブ カバーを持ち上げて、コンピュータから取り外します（**2**）。

9. ハードドライブのネジ（**1**）を緩めます。
10. ハードドライブ タブを左方向に引いて（**2**）、ハードドライブの固定を解除します。
11. ハードドライブを持ち上げて（**3**）ハードドライブ ベイから取り外します。

ハードドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**1**）。
2. ハードドライブ タブを右方向に引いて（**2**）、ハードドライブを固定します。

3. ハードドライブのネジ（**3**）を締めます。

4. ハードドライブカバーのタブ（**1**）を、コンピュータのくぼみに合わせます。

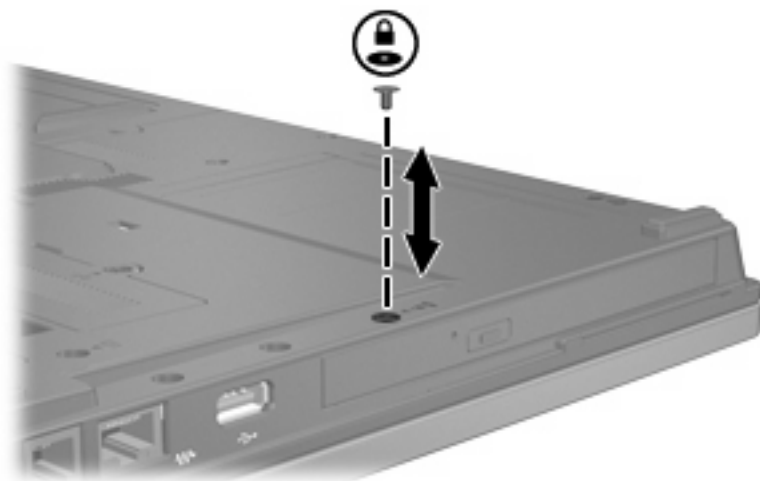
5. カバーを元に戻します（**2**）。

6. ハードドライブ カバーのねじ（**3**）を締めます。

6 マルチベイ II ドライブ

マルチベイ II では、オプティカル ドライブだけでなく専用のアダプタを装着した別売のハードドライブ モジュールも使用できます。

マルチベイ II の固定ネジ

ノートブック コンピュータ裏面のマルチベイ II の下にあたる部分に取り付けられている固定ネジにより、マルチベイ II に装着したドライブのセキュリティが強化されます。搬送時は固定ネジを取り付ける必要がありますが、通常使用時は取り外してかまいません。

注記： マルチベイ II へのドライブの着脱を行う場合は、事前に固定ネジを取り外す必要があります。

マルチベイ II ハードドライブ

マルチベイ II には、ハードドライブがアダプタに装備されている、別売のハードドライブ モジュールを取り付けることができます。

ハードドライブ モジュールの取り付け

ハードドライブ モジュールをマルチベイ II に取り付けるには、ハードドライブ モジュールの右側面を押して、所定の位置に固定されるまでマルチベイ II にゆっくりとスライドさせます。

ハードドライブ モジュールの取り外し

ハードドライブをマルチベイ II から取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 作業中のデータを保存して、開いているアプリケーションをすべて閉じます。
2. 通知領域にある**[ハードウェアの安全な取り外し]**アイコンをクリックします。

   接続されているデバイスの一覧がダイアログ ボックスに表示されます。
3. ハードドライブを選択し、**[停止]**ボタンをクリックします。

   安全に取り外す準備が整ったことを知らせるメッセージが表示されます。
4. ハードドライブ モジュールの右側面をゆっくりと押して（**1**）、ロックを解除します。
5. ハードドライブ モジュールをマルチベイ II から取り出します（**2**）。

マルチベイ II オプティカル ドライブ

ここでは、マルチベイ II でのオプティカル ディスク（CD や DVD など）の使用方法について説明します。

オプティカル ドライブの取り付け

オプティカル ドライブをマルチベイ II に取り付けるには、ドライブの右側面を押して、所定の位置に固定されるまでマルチベイ II にゆっくりとスライドさせます。

オプティカル ドライブの取り外し

オプティカル ドライブをマルチベイ II から取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 作業中のデータを保存して、開いているアプリケーションがあれば閉じます。
2. 通知領域にある**[ハードウェアの安全な取り外し]**アイコンをクリックします。

   接続されているデバイスの一覧がダイアログ ボックスに表示されます。
3. オプティカル ドライブを選択し、**[停止]**ボタンをクリックします。

   安全に取り外す準備が整ったことを知らせるメッセージが表示されます。
4. オプティカル ドライブの右側面をゆっくりと押して（**1**）、ロックを解除します。
5. オプティカル ドライブをマルチベイ II から取り外します（**2**）。

7 オプティカル ドライブの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクは、情報を保存または転送したり、音楽や映画を再生したりします。DVD は CD よりも大容量です。

次の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブではオプティカル メディアからの読み取りが可能で、一部のドライブでは書き込みもできます。

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアからの読み取り	CD-RW メディアへの書き込み	DVD±RW/R メディアへの書き込み	DVD+RW DL メディアへの書き込み	LightScribe CD または DVD ±RW/R へのラベルの書き込み	DVD-RAM メディアへの書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可	不可	不可
DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ	可	可	可	不可	不可	不可
スーパー マルチ ドライブ	可	可	可	可	不可	可
2 層記録対応の LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ	可	可	可	可	可	可

注記： 上記のオプティカル ドライブの一部は、モデルによってはサポートされない場合があります。サポートされているオプティカル ドライブは、上記のドライブだけとは限りません。

注意： オーディオやビデオの劣化または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

情報の損失を防ぐため、CD や DVD への書き込み時にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

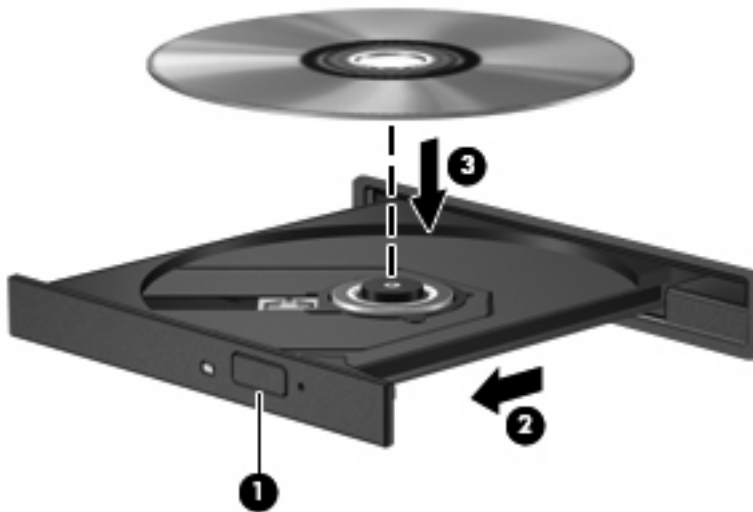
ディスクの再生中にスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。 このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開きます。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

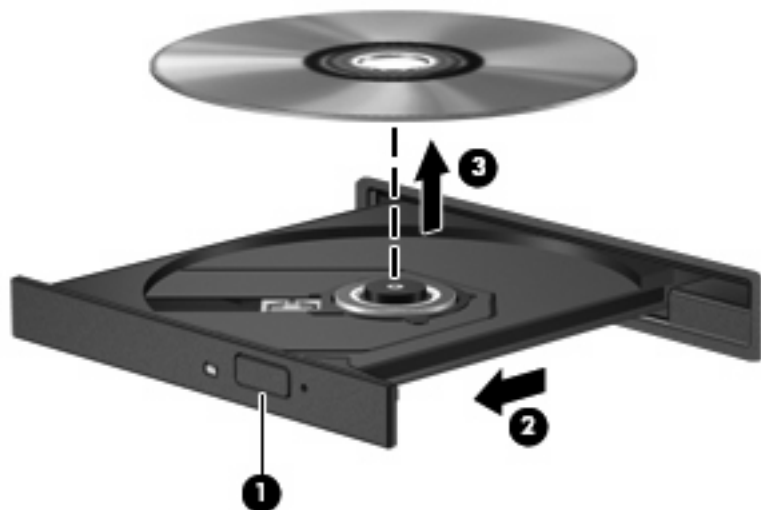
   注記：　トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. メディア トレイを閉じます。

注記：　ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。初期設定のメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法についての選択を求められます。

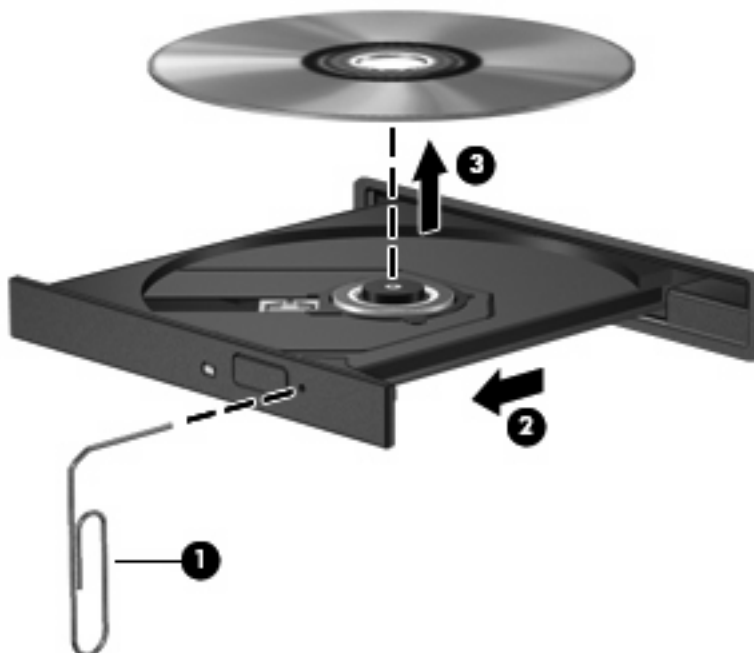
バッテリ電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

   注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

8　外付けドライブの使用

着脱可能な外付けドライブに情報を保存し、保存した情報にアクセスすることができます。

USB ドライブを追加するには、コンピュータまたは別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）の USB ポートに接続します。

外付けマルチベイまたはマルチベイ II は、以下を含むマルチベイまたはマルチベイ II デバイスをサポートします。

- 1.44MB のフロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプタが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD+RW/CD-RW マルチ ドライブ
- DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ

別売の外付けデバイス

注記： 必要なソフトウェアとドライバ、またコンピュータのどのポートを使用するかについては、お使いになる外付けデバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けデバイスをコンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

注記： 電源付きデバイスを接続する場合は、デバイスの電源を切り、AC 電源コードを抜きます。

1. デバイスをコンピュータに接続します。
2. 電源付きデバイスを接続する場合は、接地した AC コンセントにデバイスの電源コードを差し込みます。
3. デバイスの電源を入れます。

電源なし外部デバイスを取り外すには、デバイスの電源を切ってから、コンピュータからデバイスを取り外します。電源付き外部デバイスを取り外すには、デバイスの電源を切ってからコンピュータからデバイスを取り外し、AC 電源コードを抜きます。

別売の外付けマルチベイおよび外付けマルチベイ II

外付けマルチベイまたはマルチベイ II をコンピュータの USB ポートに接続して、マルチベイおよびマルチベイ II デバイスを使用できます。

外付けマルチベイについて詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

索引